

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	生活協同組合コープみらい	事業所名	看護小規模多機能ホーム コープ夢みらい四街道
所在地	(〒 284 - 0001) 千葉県四街道市大日 1794-3		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・医療ニーズの高い方でも、住み慣れた「自宅」・「地域」で希望をもって最期まで生活が出来るよう支援していきます。
- ・どのような状態の方でも断らず、利用者の受け入れを行っています。
- ・利用者・ご家族の状態に応じて、看護小規模多機能型居宅介護事業所の「通い」「泊まり」「訪問（看護・介護）」サービスを組み合わせて支援を行います。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 3 月 25 日	従業者等自己評価 実施人数	(18) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 4 月 21 日	出席人数（合計）	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	■自事業所職員 (3 人) □市町村職員 (0 人) ■地域包括支援センター職員 (1 人) ■地域住民の代表者 (1 人) ■利用者 (1 人) □利用者の家族 (0 人) □知見を有する者 (0 人) ■その他 (1 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価							
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	/	/	/							
Ⅱ. サービス提供等の評価				1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	/	/	/			
				2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)				/	/	/
				3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)						
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	/	/	/							

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時や職場会、申し送りノートを活用して、今後も情報の共有を図っていきます。 ・研修が OJT 中心となってしまっているので、研修内容を検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有が図れるように、朝礼・職場会・申し送りノートの内容を工夫していきます。 ・内部、外部研修への参加を、体制を含めて検討していきます。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、ご家族の希望や意向を訪問時に確認してサービスに反映していますので、安心して利用ができています。 ・自立支援を目指したケアプランが作成されています。理学療法士も入職したので、機能訓練も導入した内容のケアプランを作成していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、ご家族と今後もコミュニケーションを図りながら、ご本人・ご家族にとって必要なサービスを検討していきます。 ・在宅生活が続けられるためのサービスを今後も検討していきます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や各事業所と連携が取れていますので、今後も良好な関係作りを継続していきます。 ・緊急時の対応は出来ていますが、すべての利用者ではないので、指示書がない方の対応を検討していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医、看護師、薬剤師、理学療法士等と連携して多種多様な支援が出来るようにしていきます。 ・すべての利用者の緊急時対策を医療機関と連携し、希望に沿った対応が出来るよう全職員で対応可能な体制を作っていきます。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師以外で喀痰吸引が出来る職員が 1 名のみのため、喀痰吸引研修を受講できる体制を整えていきます。 ・看取りが出来る体制を今後も継続していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引や認知症実践者研修への参加が出来る体制を整えていきます。 ・定期的な研修を継続的に行い職員の質の向上に努めます。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、ご家族が安心して自宅での生活を継続できるように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者が、住み慣れた「自宅」・「地域」で安心して生活が継続出来るように、体制を構築してより良いサービス提供が出来るように全職員の意識を高めます。 	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している				○	<p>開設後は研修が出来ていないのか。</p> <p>→研修は行っていますが、OJT研修が中心となっています。</p>	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●開設前は時間的な余裕もあり育成計画を作成して研修（訪問・通所）を行っていたが、開設後は余裕がなくなり、育成計画を立てゆっくりとした研修が行えていない。</p> <p>●育成計画は作成していますが、職員のレベルに合わせたものが作成されておらず、また計画があることを職員全員に周知出来ていなかった。</p>					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<p>研修受講者が1名のみということだが、研修確保が出来なかったのは、新型コロナウイルス以外の理由はないのか。</p> <p>→新型コロナウイルス感染症の問題が大きな理由です。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●1名のみ喀痰吸引研修を受講できましたが、新型コロナウイルス感染症問題で研修がなくなり、研修の機会を確保することが出来なかった。</p> <p>●事業所内での研修は定期的に行うことが出来た。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
〔具体的な状況・取組内容〕 ●朝礼で情報共有を行い、申し送りノートの活用で確認できている。 ●月1回の職場会で利用者の状況を把握できている。							
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
〔具体的な状況・取組内容〕 ●職場会や申し送りで情報共有を行い、サービス提供に反映できている。							
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
〔具体的な状況・取組内容〕 ●自身の身体状態や家庭の事情による勤務形態を考慮したシフト変更が可能。 ●職員家族に急な体調不良が生じて、勤務調整出来る体制があり、安心して働							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		くことができる。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				特になし	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ●その都度申し送りがノートが更新され、口頭でも申し送りされるため、情報共有が徹底されている。 ●医療面においても、看護師からの申し送りがあるため対応が早い。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			特になし	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ●月1回の職場会でヒヤリハット事例を共有し、安全確保の対策が講じられている。 ●手順書を都度作成して対応策を講じている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます ✓
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			4/16より理学療法士が入職したので、今後は機能訓練の内容を組み込んだ計画を作成していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 早期に把握し、計画の見直しが行えている。 ● 医療ニーズの高い方が多く、状態変化が起こりやすい。適宜、状況に合わせた支援を行っているが、後手にまわってしまうこともある。 					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			登録人数が29名と決まっていますので、サービスが偏らないよう計画していますが、家族による都合等があれば相談の上サービス内容を変更して対応しています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 定期的な訪問を行い、本人・家族と話し合いを行い、介護状況・生活状況を見ながらサービスが偏らないようサービスを組み立てている。 ● 必要なサービス（本人にとって）を計画している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 身体状況の変化時等を月1回報告書という形で主治医に報告し情報共有を図っています。 利用者が受診前に医師に情報を送り、共有している。 					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		<p>【具体的な状況・取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 介護職員が少ないため、相互の協力が必要。（看護師より） ● 朝礼だけでなく、行動する前には看護師は自分の予定（動き）を伝えるようにしています。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○			特になし	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●月1回の職場会を通じて情報共有を行い、利用者の情報共有を図っています。 ●スタッフ間で情報共有を図っていますが、朝礼時に介護職員が訪問に出してしまうと、介護職員からの申し送りが聞けないため、帰ってくるまで連携が取れない時があります。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			対応する看護師が毎日違うとはどういうことなのか。 →併設する訪問看護ステーションの看護師1名が、1日おきに交代で夢みらい四街道の業務を行っている。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●カードックスを活用して情報共有を図っています。 ●対応する看護師が毎日違うため、申し送りが看護師全員に行き届かないことがあります。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<p>どのように理解してもらっているのか。</p> <p>→利用する前には必ず利用者本人もしくはご家族に夢みらい四街道に見学にきていただき、事業の特徴や料金について説明して納得の上で利用（契約）となります。</p>	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			<p>特になし</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービス開始前にサービス担当者会議内でケアプランを説明し理解を得ています。 ●計画された計画書をあまり見ていなかったが（スタッフ）、利用者はサービス内容に理解を示していた。 	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特になし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●処置等が必要になった場合は、その都度説明し理解を得ている。 ●わかりやすい説明を心がけています。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			希望や意向を確認してサービスに反映している為、ご家族・本人からは非常に感謝されています。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●自宅を訪問して希望や意向を伺った後サービスに反映している。 ●送迎時、家族から相談を受けた場合はCMに連絡している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			利用者だけでなく、ご家族の置かれている状況も考えサービスを行っています。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●状態に応じて、家族とも連携し話し合いを行いながら、在宅生活の継続可否を行っている。 ●24時間連絡がとれる体制となっており、家族も不安時は電話をかけてこられ対応に安心されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			看護師から予後及び死までの経過を説明しており、家族も身近に医療職がいることで、安心して介護ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			病院から紹介を受けることが多くなっています。退院前カンファレンスへの参加も積極的に行っており病院との連携もできています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている			○		主治医からなぜこの1名の利用者は指示書をもらえないのですか。 →元気な利用者で主治医から、訪問看護が必要ないと判断されたため指示書を頂けていません。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている				○	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている				○	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		評価になりました。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○		特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の影響で積極的な活動を行うことが出来なかった。 ● 開設前と開設時は活動することが出来ていましたが、その後新型コロナウイルス感染症の問題から啓発活動を行うことが出来ず、ポスティング活動を行いました。 							
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、〔具体的な状況・取組内容〕欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合
<p>〔具体的な状況・取組内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 訪問看護ステーションを併設しているため、看護小規模多機能型居宅介護の登録者以外の訪問も時間的に余裕がある場合は実施していました。 							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要 介護者を受け入れることが できる体制が整っており、積 極的に受け入れている				○	昼間だけでなく、看護師のい る時間帯であれば受け入れ は可能です。	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●看護師以外で喀痰吸引が出来る職員は 1名しかおらず、体制的にはまだ整って いない。通いサービスで喀痰吸引が必要な 利用者を受け入れながら、喀痰吸引の研 修を受講できる体制を整えていきます。 ●介護職員1名だけしか痰吸引できてい ない為、全くできていないという評価に なりました。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている				○	特になし	✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ●日中は看護師がいるので受け入れは可 能だが、夜間は看護師が不在となり、対応 できる介護職員がいないため体制は整って					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		いない。 ●現在「人工呼吸器」を必要としている利用 ケースがないため、全くできていないという 評価になりました。					できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	○				これまで2名の利用者の看取 り支援を行ってきましたので、 今後も継続して受け入れてい きます。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシステ ムの構築方針や計画の内容 等について理解している		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解するこ とが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			隣にサ高住がありますが、受け入れる予定はないのか。 →現時点では受け入れる予定はありません。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている				○	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			特になし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●介護計画、看護計画が作成されている。 ●全員に計画目標が立案されているが、全員が目標達成ができていない。	特になし	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ●24時間連絡が取れる体制になっているので、何かあれば訪問してもらえるので家族は安心されていた。	特になし	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p>●医療ニーズの高い方でも、医療面では看護師が、日常生活面では介護職員が相談・助言することで、本人・家族は安心して不安なく在宅介護が行えている。</p>		
44	<p>○サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>●自宅での看取りが不安であれば、泊まりサービスを利用して看取りが行えるので、家族は不安なく在宅介護を送ることが出来る。</p> <p>●看取り実績はまだ2件しかありませんが、看取りが出来るということを家族にお伝えすることで、安心してサービスを利用することが出来ている。</p>	<p>看取り（対応）が出来ることをお伝えすると、非常に安心される家族が多いです。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>